

電気科のQ&A

学ぶ

□普通科目と専門科目の割合はどのくらいですか。

普通科目が約60%、専門科目が約40%です。

3年生では、個々の進路を考え、普通科目と専門科目の選択制を取り入れています。

	1年	2年	3年
普通科目	7～8科目 (19～20単位)	8～10科目 (18～20単位)	5～8科目 (12～17単位)
専門科目	3科目 (10単位)	4科目 (11単位)	5～7科目 (14～17単位)

(24年度入学生)

□どのような内容(専門科目)を学びますか。

1年生では、交流、直流、コンピュータなどの基礎を学びます。

工業技術基礎(1年)、情報技術基礎(1年)、電気基礎(1、2年)

2・3年生では、基礎をもとに、各分野について深く学びます。

電気実習(2、3年)、課題研究(3年)、電力技術(2、3年)

電子技術(2、3年)、電気機器(2、3年)、電子情報技術(3年)

電気は、大きく電気エネルギー、電子、情報、制御の4分野に分かれます。これらの分野全般について学びますので、電気全般を知ることができます。

□実習ではどのようなことを学びますか。

○工業技術基礎では、電気に関する基礎的な技術を体験的に学習します。

○情報技術基礎では、ソフトウェア、プログラミング、ハードウェア、マルチメディア、制御、通信など情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得します。

○電気実習では、電気エネルギー、電子、情報、制御の分野について体験的に学び理解を深めます。

○課題研究では、太陽光・風力発電、自作コンピュータ・ネットワーク、パソコン制御、通信など、興味のあるテーマを自分で決めて1年間研究します。

□専門科目の課題(宿題など)にはどのようなものがありますか。

工業技術基礎、実習、課題研究など実験をとまなう科目では、実験報告書の提出があります。また、授業で問題がやりきれないとき、宿題となる場合があります。

□男女比はどのようになっていますか。

女子は毎年数名が入学しています。(24年度1年生2名、2年生2名、3年生3名)

□どのような資格が取れますか。

第3種電気主任技術者(認定校:卒業後経験年数により3、2、1種取得可)、第2種、第1種電気工事士(卒業生筆記免除[2種])、技能検定3級(電気機器組立て:シーケンス制御作業)、工事担任者、これ以外にも、危険物取扱者などに多くの生徒が受験して成果を出しています。

進路

□平成23年度卒業生の進路状況はどのようになっていますか。

○平成23年3月卒業生（39人）

単位：人

就職	四年制大学	短期大学	高等専門学校	専門学校等	その他
28	9	0	1	1	0

□おもな就職先はどこですか。（過去3年間）

中部電力、遠州鉄道、浜松ホトニクス、J R東海、テイボー、デンソー、トーエネック、ブリヂストン、新日本特機、中部電気保安協会、新機械技研、日本電話施設、明光電気、鈴木電工、トヨタ紡織、天方産業、グルンドフォスポンプ、東海交通機械、共和レーザープライムアースEVエネルギー、三菱電機ビルテクノサービス、ソミック石川、ホクエンユタカ技研、聖隷福祉事業団 他

□おもな進学先はどこですか。（過去3年間）

- 国公立大学 : 静岡大学、豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、東京海洋大学、信州大学、山梨大学、長岡技術科学大学
- 私立大学 : 近畿大学、名城大学、愛知工業大学、中部大学、東京都市大学、日本大学、工学院大学、神奈川大学、玉川大学
- 各種学校 : 浜松情報専門学校、静岡医療科学専門学校、静岡工科自動車大学校、名古屋工学院専門学校

□どのような職種に就いていますか。

電気を専門に勉強している本校電気科の生徒へのニーズは非常に多く、電気関連に限らず多方面にわたっています。開発職、技術職、生産管理職など技術を要する職種に多く就職しています。

□女子の求人数はどれぐらいですか。

電気科には男女を問わず、多くの求人があります。

課外活動

□部活動との両立はできますか。

電気科では、運動部が約70%、文化部・生産部が約30%の割合になっています。放課後は、どの部活も活発に活動していますが、集中して授業を受け、また休み時間などを利用して先生に質問するなどして勉強と部活動を両立させています。また、本人の希望により多くの資格検定試験に挑戦していますが、時間を工夫して頑張り、多くの合格者が出ています。最終的には本人の努力次第です。